

1 「(仮称)文化交流拠点施設」の活用							
主旨	1 平成25年度に建設が予定されている「(仮称)文化交流拠点施設」を、川崎宿におけるまちづくりの起爆剤として有効に活用します。 2 川崎宿を訪れる人の憩いの場、情報受発信の場としてはもちろん、地域の人たちが気軽に訪れ交流する、コミュニティ拠点として位置づけます。						
提案内容	提案の内容	まちの動きや 取組み実績 (H15～22)	実施時期		実施主体		
			短期 3年以内	中・長期 (5年以上)	2023	地元	行政との協働
	1 維持、管理・運営への参加 「(仮称)文化交流拠点施設」の維持、管理・運営に参加します。東海道川崎宿2023はもとより、地元NPOや商店街、企業、観光協会、商工会議所など、多様な担い手が参加することで、より魅力的な施設を目指します。		○		○	○	○
	2 各種講座・企画展の開催 東海道川崎宿に関する魅力的な講座や企画展を開催することで、多くの人に川崎宿を訪れてもらいます。また、市内の小学生を対象とした宿講座や区民向けの講演会、地元の人を講師に招いた昔語りの会等を開催することで、地域の人たちが日常的に、気軽に利用できる施設にします。 企画展の開催等に向けて、展示品の寄贈を広く呼びかけます。		○		○	○	○
	3 定期刊行物の発行 「(仮称)文化交流拠点施設」や川崎宿で開催される催し物の情報、川崎宿に関する歴史、文化・文芸、人物の紹介等を掲載した、定期刊行物を発行します。			○	○		○
4 中心部以外でのお休み処の確保 「(仮称)文化交流拠点施設」の建設が想定されている中心部以外の街道筋において、お休み処を確保します。とくに八丁畷駅付近は、神奈川側から川崎宿への入口であたるため、ガイドの受付窓口の設置、地図やパンフレットの配布等の機能を検討します。 場所の確保にあたっては、空き店舗等を有効に活用します。			○	○	○		
主な取組み	□「東海道川崎宿歴史資料館(仮称)整備基本構想」の策定 平成21(2009)年3月に、東海道川崎宿2023としての「東海道川崎宿歴史資料館(仮称)整備基本構想」をまとめ、区に提出しました。						



2 商店街元気アップ

主旨	<p>1 街道筋の商店街を元気にする事により、街道筋に活気を呼び込みます。</p> <p>2 商店街と連携して、歴史を活かしたまちづくりを推進することにより、歴史資源を活かした観光のまちづくりを進め、地元経済の活性化をはかります。</p>						
	提案の内容	まちの動きや 取組み実績 (H15～22)	実施時期		実施主体		
短期 (3年以内)			中・長期 (5年以上)	2023	地元	行政との協働	
提案内容	1 音楽による演出 街道筋の商店街で、川崎宿や川崎区と関連のある音楽を流します。 例えば、川崎出身の坂本九さんや佐藤惣之助の歌、江戸風の音楽などを流し、川崎宿を演出します。	・京急川崎駅の発車音に坂本九さん「上を向いて歩こう」を使用	○			○	
	2 トイレ協力店 川崎宿を訪れた人が快適に過ごすため、街道筋の商店にトイレ協力店を募り、店の入口に表示します。		○		○	○	○
	3 商店街イベントへの参加・協力 商店街のイベント開催に合わせて、チラシの配付や独自イベントを開催し、広く川崎宿をアピールするとともに、集客の相乗効果を狙います。		○		○	○	
	4 店先簡易休憩所の設置 店先や店内にベンチや縁台を置くなど、簡易休憩所を設置します。			○		○	
	5 川崎宿共通包装紙・ポイントカード 川崎宿の名物や史跡、キャラクターなどをデザインした共通の包装紙の導入や、ポイントカードなど、川崎宿と絡めた商店街単位の取り組みを支援します。			○		○	
	6 オープンカフェの開設 イベントの開催等に合わせて、川崎宿を訪れる人が気軽に休憩でき、地元の人たちと交流する、オープンカフェを開設します。 開設にあたっては、空き店舗や駐車場、歩道の空きスペース等の活用を検討します。			○		○	
	7 商店街PR用高札の設置 商店街の催し物やお買い得品など、各種情報を掲示する、PR用高札を設置します。 設置にあたっては、各商店街に協力を求めます。			○		○	